

おめでとう国体2連覇！阿蘇高女子柔道部、栄冠の日本一！



第64回国体大会「トキめき新潟国体」で、柔道少年女子団体に熊本県代表として出場した、阿蘇高校3年の石松千奈さん、松川結さん、後藤美和さんが見事優勝し、昨年に続く快挙を成し遂げました。決勝は愛知県と行き、一本勝ち2本、1引き分けという見事な内容で栄冠を手にし、阿蘇高校の名を全国に響かせました。

10月22日、市役所に優勝報告に訪れたメンバーは、「目標を果たせました」と市長に報告。3年間応援してきた市長は「努力は裏切らない！」と選手を讃え、喜びの握手を交わしました。

耕作放棄地に栽培したサツマイモを学校給食に

水土里ネット一の宮（一の宮町土地改良区）では、平成19年度から始まった農地・水・環境保全向上対策事業の事務局として、耕作放棄地解消プロジェクトを推進しており、今年は20aにヒマワリ、6aにサツマイモを植栽しました。

10月14日は、水土里ネット一の宮の役職員、農地・水・環境保全活動組織の代表、一の宮中学校フレンドルームの生徒など約40人でサツマイモを収穫。収穫したサツマイモ（480kg）は、学校給食の食材にと提供されました。耕作放棄地で栽培したサツマイモを食してもらうことで、未来を担う子どもたちの農業への関心を高め、更に農業の多面的機能について考えてもらう機会にして欲しいという目的です。



ミルクロードを750人がゴミ拾い



熊本日日新聞社主催、阿蘇グリーンストック共催、株式会社ダスキン協賛の「クリーンアップマイタウン in くまもと」が、北外輪山ミルクロード25キロの区間で10月18日行われ、750人が美化活動に汗を流されました。阿蘇の環境や草原を未来に継承していくことを目的に、県民、地元住民、企業、団体が連携して行ったもので、参加者はススキが波打つ秋の景観の中ゴミを拾い、終了後は、阿蘇の特産品が当たる抽選会や農産物産直市などを楽しみ阿蘇を満喫しました。

各県から集い実年ソフトボール大会開催



第18回西日本実年ソフトボール大会が10月2日（開会式・阿蘇体育館）3・4日（試合・農村公園あびか）の日程で開催され、各県の厳しい予選を勝ち抜かれた22チーム430人が参加しました。選手は実年・50歳代の方々。グラウンドを囲む雄大な景観を喜びながら、カー杯プレーされました。

今大会は、各県持ち回りで開催されており、今回熊本県の番ということで、地元ソフトボール協会等が尽力され阿蘇市に招き、無事西日本大会を盛会に終えられました。